

2024年度 一般選抜(前期日程) 国語 出題のねらいと解答例

出典

戸谷洋志『友情を哲学する』光文社

出題のねらい

本問題は、語句の意味・用法などを理解したうえで使いこなす能力、文章の構成や特徴ある表現を捉える分析力、論理の展開や要点を的確に読み取る理解力、内容全体を総合的にまとめる論理力、論理的な構成を工夫してまとめる構成力を測っている。

昨年度までと同様、今年度の問題では長文を読み、それに基づいて語彙や文法などにかかわる基礎知識を問うとともに長文記述の問題を出題した。

解答例

問題Ⅰ(配点20点)

問一

(ア) がいとう (イ) きづか (ウ) こうけつ (エ) きょうじゅ (オ) いんぼう

問二

(あ) 睡眠 (い) 書籍 (う) 抽出 (え) 居心地 (お) 卓越  
(か) 魅力 (き) 詰 (く) 壊 (け) 把握 (こ) 滅

問三

a 3 b 4 c 5 d 1 e 2

問題Ⅱ(配点55点)

問一

I 3 II 5 III 4 IV 1 V 2

問二

4

問三

3

問四

4

問五

2

問六

5

問七

3

問八

快樂や有用さは二次的で副次的なものに過ぎず、後から付け加わる付帯的な価値である。付帯的な価値に基づく友情は簡単に失われる。それに対して、長所や個性といったその人自身に備わる、その人自身の善良さに基づく友情は簡単には失われず安定して持続する。(120字)

問九

活動している最中に自分自身を反省し、認識することはできない。だが、自分と同じ善良さをもつ友達の姿を自分の鏡のように眺め、そこに自分と相通じるものを感じ取ることができる。そのように、自分自身と距離を取り、自分自身の善良さや幸福を認識すること。(120字)

### 問題Ⅲ (配点25点)

#### 評価方法

語句の適切な使用、文章の明快さ、問題文に提示された概念の理解、記述内容の論理性などを総合して評価する。

以上